

## 「環境白書」の刊行にあたって



本県は多彩な自然に恵まれており、私たちの暮らしや産業は、この豊かな環境からの恵みを受けながら育まれてきました。この健全で恵み豊かな環境を、未来に向けてしっかりと引き継ぐことが、現代の私たちに託された使命と考えています。

近年、気候変動に伴う異常気象や生態系への影響、急増する海洋ごみ問題、野生鳥獣による被害や外来種問題等が顕在化してきています。このような地球規模の環境問題に対しては、地域特性や産業特性を活かしながら、総合的かつ計画的に環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現していくことが重要です。

このため、本県では、地球温暖化対策の推進をはじめ、再生可能エネルギーの導入促進や、循環型社会の形成、さまざまな生物との共生と再生、いのちを支える空気と水等の保全、次代を担う環境・エネルギー産業の育成・集積などを積極的に進めており、その結果、本県の環境の状況は概ね良好に推移しています。

さて、私は、今年、新たな県政運営の指針となる「やまぐち維新プラン」を策定し、これまでの成果の上に立ち、新しい時代を切り拓くため、「産業維新」、「大交流維新」、「生活維新」の「3つの維新」に挑み、「活力みなぎる山口県」の実現を目指しています。

とりわけ、県民の皆様がいつまでも安心して暮らせる基盤を築く「生活維新」を進める上で、環境問題への取組が何よりも重要です。

私は、これからも直面するさまざまな課題にしっかりと向き合い、県民の皆様が「山口県に生まれてよかった」と思っただけけるよう、健全で恵み豊かな環境の保全と創造を目指し、積極果敢に取り組んでまいります。

この白書は、山口県環境基本条例に基づく年次報告であり、本県の環境の状況及び環境の保全に関する施策を取りまとめています。本書を通じて、県民の皆様がふるさとの環境について理解と認識を深めていただく一助となりますよう願っています。

平成30年(2018年)10月

山口県知事  
村岡嗣政